

## 那須塩原市ブランドキャラクターの任命について

概要： 平成18年に市農務畜産課職員の考案で誕生し、今まで那須塩原市牛乳消費拡大PRキャラクターとして、牛乳ならびに畜産物の普及と拡大消費を図るために活躍している「みるひい」は、市民の認知度も上がり、市民から愛されるキャラクターに成長しました。

この度、那須塩原市の魅力発信のために今まで以上に「みるひい」が活躍できるようにするため、那須塩原ブランドキャラクターに任命します。このことにより、従来の牛乳ならびに畜産物の普及と消費拡大を図る目的以外でも「みるひい」を有効に活用することができるようになります。

また、ブランドキャラクターに任命することで、「みるひい」の所管を従来の産業観光部農務畜産課から企画部シティプロモーション課に移管します。



ぶらんどきゃらくたーに任命されて、とってもうれしいモー♪  
まだまだ乳臭いワタシですが、  
これからも、那須塩原市をたくさんぴーあーるしていくから、  
みんな応援してね！

## ◆みるひい 誕生までのエピソード

平成18年6月、当時の農務畜産課担当職員は何とかして牛乳の消費拡大をできないかと考えました。いくつかのアイデアが出た中で、全国的なゆるキャラブームが到来し始めており、牛のキャラクターを誕生させて牛乳をPRしたいと考えました。

最初は何気ない落書き程度のものから試行錯誤を繰り返し、現在のデザインが誕生。当初はまだ名前もなく、農務関係のポスターやチラシ、通知など「牛乳消費PRキャラクター」として限定的な形で使われていました。しかし、せっかくなので名前を付けたいと考え、平成19年2月に市内の全職員向けに名前を公募。本市には国の重要文化財である旧青木家那須別邸があり、所有していた青木周蔵氏は「ドイツ翁」と呼ばれるほどドイツとの縁のある方でした。そこでドイツ語で「牛乳」を表す「milch」から呼び名をとり、大人から子供まで親しみを込めてもらえるようひらがな表記で「みるひい」としました。

## ◆みるひい プロフィール

名前	「みるひい」
名前の由来	ドイツ語で牛乳を表す「milch（ミルヒ）」から名付けられました。 ※那須塩原市には国の指定重要文化財である旧青木家那須別邸があり、青木周蔵氏（明治時代にドイツ公使、外務大臣、アメリカ大使等を歴任）は「ドイツ翁」と呼ばれるほど、ドイツに縁がある方です。
誕生日	平成17年1月1日（市町村合併とともに誕生）。11歳になりました。
誕生の経緯	「生乳生産本州一のまち」那須塩原のおいしい牛乳をもっと飲んでほしい！という思いから、牛乳消費拡大PRのために誕生しました。
ヒ・ミ・ツ	背中黒い模様は、よく見ると「那須塩原市」の形になっています。 まさに、那須塩原市を背負っているんです！
好きな言葉	「牛の歩みも千里」…たとえ牛のように歩くのが遅くても、こつこつ努力を続けていけばやがては大きな成果を得られるということ。
口ぐせ	「まだまだ乳臭いワタシですが…」

## ◆これまでの活動（毎年出役していたもの抜粋）

- 4月 青木農業祭
- 7月 ふれあい祭り
- 9月 那須塩原市牛乳の日
- 10月 畜産フェア、巻狩りまつり
- 11月 ハーフマラソン

※その他にも畜産PRや牛乳PRのイベント、テレビ出演など要請がある場合には出役しています。